

2025年度委員会 委員公募

2025/ 8/ 4

一般社団法人情報サービス産業協会

公募する委員会、部会、コミュニティの一覧

	頁
1. 委員会	1-1. 技術委員会 3
	1-2. 国際委員会 4
2. 部会	2-1. 低炭素化社会推進部会（企画委員会） 5
	2-2. 財務税制部会（企画委員会） 6
	2-3. 学校教育部会（人材委員会） 7
	2-4. デジタル社会推進部会（ビジネス委員会） 8
	2-5. 技術調査部会（技術委員会） 9
	2-6. サイバーセキュリティ部会（技術委員会） 10
3. コミュニティ	3-1. 会員連携コミュニティ（企画委員会） 11
	3-2. 採用コミュニティ（人材委員会） 12
	3-3. 中学・高校における探究を中心とした学習活動データの利活用を考えるコミュニティ（人材委員会） 13
	3-4. 事業アライアンスコミュニティ（ビジネス委員会） 14
	3-5. デジタルビジネスインキュベーションコミュニティ（ビジネス委員会） 15
	3-6. ITアーキテクトコミュニティ（技術委員会） 16
	3-7. アジャイルコミュニティ（技術委員会） 17

1-1. 技術委員会

1. 目的

- ・ 先端デジタル技術の探求
- ・ 先端デジタル技術および既存IT技術のテクノロジーインテグレーション力の醸成
- ・ 各種技術コミュニティや技術横断的なコミュニティの醸成
- ・ IPAとの連携によるソフトウェアエンジニアリングの革新
- ・ サイバーセキュリティ技術への対応
- ・ 技術コンテストの企画/運営

2. 活動内容

- (1) 先進デジタル技術に関するアーキテクチャの融合と創出を目指し、会員企業におけるシステムのモダナイゼーションの推進、ならびに生成AIの社会実装を見据えた共通フレームの整備を重点課題として掲げ、実践的な枠組みの構築についての検討
- (2) 開発と運用の統合を視野に入れた次世代DevOpsの在り方についての検討
- (3) IPAとの連携を通じた先端デジタル技術と既存IT技術の統合を担う「テクノロジーインテグレーション力」の強化
- (4) 技術イベント「SIS」の企画・運営

3. 委員長

富安 寛 (株)NTTデータグループ 常務執行役員

4. 委員資格

上記、活動内容に関心があり、積極的に意見を出せる方

5. 会合の頻度

会合は年3～4回程度開催、第1回会合は、9月11日 9:00-11:00を予定。

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)

1-2. 国際委員会

1. 目的

- ・ アジア・太平洋地域における二国間連携活動
- ・ 各国とのビジネス交流機会の推進
- ・ WITSA、ASOCIO等多国間

2. 活動内容

- (1) 韓国、台湾等との先端技術およびビジネス動向の情報共有
- (2) ベトナムとの交流の維持、ビジネス機会の提供
- (3) 中国との交流の維持
- (4) 米国視察等の企画・検討
- (5) ASOCIO、WITSA・WCITへの対応
- (6) 会員企業の国際ビジネス動向に関する情報共有
- (7) 上記以外の国際交流

3. 委員長

富安 寛 (株)NTTデータグループ 常務執行役員

4. 委員資格

分野を問わず、海外事業に関わる企業または団体に所属し、国際委員会の活動に関心をお持ちの方

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 委員会年3-4回（第1回委員会は8月25日 15:30より開催予定）
- ・ 海外ビジネスセミナー、ビジネス視察の企画、海外展開事例に関する発表・情報共有等

6. 事務局担当

内島 (uchijima@jisa.or.jp)

2-1. 低炭素化社会推進部会（企画委員会）

1. 目的

JISA低炭素化社会実行計画の実施及び環境関係政策への対応

2. 活動内容

（1）JISA低炭素化社会実行計画の実施

JISAでは2006年に「JISA低炭素化社会実行計画」を策定し、業界自ら省エネに取り組んでいる。本部会において業界自主的な省エネ活動である本取組を推進する。業界各社の省エネの取り組みについて具体的な事例を交えながら情報交換を行うこととしている。

（2）省エネ法の対応

省エネ法改正に関する最新情報を把握するとともに、事業者における実践的な対応策を検討し、政策動向に対する実務上の備えについて検討する。

（3）環境負荷低減につながるデータセンタに関する事例研究

省エネ法の改正により求められる水準（PUE1.3）を見据え、環境負荷低減に資するデータセンタの設計・運営の先進事例を収集・整理し、JISA会員を含む業界全体への情報提供を行う。

3. 部会長

藤井 裕久（株）野村総合研究所 データセンターサービス本部 統括部長

4. 委員資格

環境関連部門又はデータセンター関連部門の方で、活動内容に関心がある方

5. 会合の頻度

会合は年に3回程度開催 他、省エネ技術勉強会を開催予定

6. 事務局担当

大原（mohara@jisa.or.jp）

2-2. 財務税制部会（企画委員会）

1. 目的

- ・ 財務及び税制に関する実務上の課題への対応
- ・ 我が国におけるIT投資を促進するための施策等に関する検討

2. 活動内容

- （1）令和8年度税制改正要望案の検討
- （2）経済産業省の令和8年度情報関連投資促進政策への対応
- （3）経理、税務処理等の実務課題に関する情報共有
- （4）その他

3. 部会長

倉地 高志（株）野村総合研究所 経理部主計課長

4. 委員資格

IT関連政策税制に関心のある方、財務会計、税務会計等の責任者・実務担当者で、課題の情報共有に関心のある方

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 6～7回を計画（年内は月1回程度（税制要望作成まで））
- ・ 原則は対面とするがTeamsによるオンライン開催を併用
- ・ 第1回部会は8月1日 開催済み

6. 事務局担当

山本（yamamoto@jisa.or.jp）

2-3. 学校教育部会（人材委員会）

1. 目的

デジタルネイティブ世代に対しての教育育成活動の支援や各種社会的啓蒙活動を実践する。また、高等教育機関などにおける先端デジタル技術（特にAI）活用に関する教育支援に取り組む。

2. 活動内容

- （１）子どもたちへのプログラミング教育支援
- （２）高等教育機関などにおける先端デジタル技術活用に関する教育支援
- （３）情報教育関連イベント
- （４）中学校・高等学校プログラミング教育充実に向けた活動

3. 部会長

今野奈穂子 日鉄ソリューションズ(株) 技術本部 システム研究開発センター 主務研究員

萬谷靖夫 日鉄日立システムソリューションズ(株) デジタルテクノロジー研究開発センター 副センター長

4. 委員資格

- ・小中高におけるプログラミング教育の普及、促進に興味のある方
- ・プログラミングワークショップやイベントに関連するボランティア活動が可能な方、もしくは所属会社にてボランティア活動参加者の普及活動が可能な方
- ・IT業界におけるジェンダーバランス是正に向けて中高生に向けた活動に興味のある方
※プログラミング教育の経験は問いません。

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・会合は年3回程度。
- ・イベント（プログラミングワークショップ、ジェンダーバランス是正を含む情報教育関連イベント等）の企画・運営

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)

2-4. デジタル社会推進部会（ビジネス委員会）

1. 目的

地方自治体情報システムの標準化、デジタル実装による地方創生実現に向けた対応、データ連携基盤の整備及び活用に向けた対応の推進

2. 活動内容

- （１）デジタル政策セミナーの企画・検討
- （２）「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化」の整備に係る取組
- （３）デジタル実装による地方創生の実現に向けた対応（地方企業の企業力強化に資する取組の実施）
- （４）データ連携基盤の整備及び活用に向けた検討
- （５）中央省庁のシステムの在り方の見直し（政府情報システム WG）

3. 部会長

加藤 健（株）オーイーシー代表取締役社長

4. 委員資格

自治体ビジネスの実務者、地域における社会課題解決型のサービス創出に向けた企画構想や政府調達に関心がある方

5. 会合の頻度

適宜開催

6. 事務局担当

溝尾（mmizoo@jisa.or.jp）、小泉（mkoizumi@jisa.or.jp）

2-5. 技術調査部会（技術委員会）

1. 目的

会員企業におけるSI技術の普及動向を調査分析し、情報サービス産業界の現状と今後の方向性について「情報技術マップ」報告書に取りまとめている。JISAでは2004年より本調査を実施している。

2. 活動内容

IT業界の技術成熟度（利用実績や着手意向など）を調査し報告書に取りまとめる。

- （１）生成AIを利用した調査分析手法の検討
- （２）調査対象とすべき技術の検討（昨年度の調査項目は[こちら](#)）
- （３）技術成熟度調査結果の分析と取りまとめ（昨年度報告書は[こちら](#)）

3. 部会長

吉田 英嗣（株）NTTデータグループ 技術革新統括本部 グローバル技術戦略推進部長

4. 委員資格

- ・ IT業界の技術動向に関心があること／専門性、知見を有すること
- ・ AIをつかった調査分析に関心があること
- ・ IT技術への取組に関して、自社の現状や動向を紹介できること

【委員参加のメリット】

- ・ IT業界の技術動向について有識者と議論することによって、IT技術の知識習得ができる活動となります。
- ・ また、今年度より本調査分析に生成AIを積極的に活用するため、生成AI活用スキルの向上にも挑戦できます。

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 会合は月1回程度開催
- ・ 作業は技術に関する情報提供や報告書の原稿執筆

6. 事務局担当

大原（mohara@jisa.or.jp）

2-6. サイバーセキュリティ部会（技術委員会）

1. 目的

クラウドやAIの活用が進展し、脅威環境が複雑化する中、最新の攻撃手法や技術動向を継続的に調査・研究し、会員企業が自社の対策に役立てられるよう、実務に即したわかりやすい情報を提供することで、業界全体の対応力強化に貢献する。特に、中小企業を含む会員企業の実態を踏まえたうえで、サイバーセキュリティ対応指針の普及を図るとともに、当該指針に基づく対策の評価手法についても検討を進める。

2. 活動内容

- （１）中小企業向けのサイバーセキュリティ対応指針の普及及びその指針をもとにした対策の有効性評価方法の検討
- （２）サイバーセキュリティに関する技術動向や海外を含む最新セキュリティ事例の調査・研究
- （３）Sier業界におけるサイバーセキュリティ脅威情報の効果的な共有のあり方について検討
- （４）サイバーセキュリティ対策や関連技術の実装状況について、調査や視察の実施の検討
- （５）行政機関・関連団体からの要請対応、外部団体との適宜連携・情報交換

3. 部会長

木谷 浩 キヤノンITソリューションズ(株) サイバーセキュリティ技術開発本部アセスメントグループ

4. 委員資格

- ・ JISA会員企業の情報セキュリティ責任者、社内CERT関係者、セキュリティポリシー立案者、セキュリティ管理者、その他情報セキュリティ有識者
- ・ 部会内における情報交換のために書面による機密保持に同意して頂けること
- ・ 脅威、インシデントに関する対応例や考え方を発表できること

5. 会合の頻度

原則として2ヶ月に1回程度

6. 事務局担当

溝尾（mmizoo@jisa.or.jp）

3-1. 会員連携コミュニティ（企画委員会）

1. 目的

会員相互の企業連携を目指す。多様な参加者が交流するとともに、（経営や業務の問題など）腹を割って話せる場を提供することを目的に活動する。

2. 活動内容

- （１）定例会、懇親の場を設け、腹を割って意見交換ができるネットワーキングの場を提供
- （２）2025年度は、定例会を隔月で開催。毎回テーマを決め、できるだけメンバー企業に共有できる資料やデータを持ち寄り、情報交換を行う予定
- （３）懇親ゴルフコンペや北海道の企業訪問を予定

3. 座長

小島 貴（株）シー・エス・イー 代表取締役社長

4. 委員資格

- ・ 経営者
- ・ 経営中間幹部
- ・ IT有識者
- ・ 交流に関心のある方

5. 会合の頻度

定例会：隔月で実施

6. 事務局担当

山本(yamamoto@jisa.or.jp)

3-2. 採用コミュニティ（人材委員会）

1. 目的

会員相互の採用全般に関する情報交換を目的に活動する。

2. 活動内容

- （１）採用担当者間の情報交換（新卒、中途、障がい者含む）
- （２）法令等に関する最新情報の収集
- （３）採用に関する産学連携の推進
- （４）定期的な会合

3. 幹事

宇津木 徹也 （株）リンクレア 人事総務本部マネジャ

4. 委員資格

- ・採用担当者

5. 会合の頻度

- ・3～4ヶ月に1回（年間3～4回）
- ・2時間程度/回

6. 事務局担当

大原(mohara@jisa.or.jp)

3-3. 中学・高校における探究を中心とした学習活動データの活用を考えるコミュニティ（人材委員会）

1. 目的

データを活用することで、中学校や高校の学習を高度化することを目指し、コミュニティ活動を通し手出てきた知見を世の中に広める。

2. 活動内容

中学校・高等学校における、探究学習を中心とした学習データを活用することで学校教育を高度化するためのモデルの作成

3. 座長

齋藤 学（株）シーエーシー 経営企画部

4. 委員資格

- ・ 探究など、学校教育に携わったことがあり、探究学習や学校教育の高度化に寄与できる人材
- ・ コミュニティ内の活動において個別募集を行う可能性もある（集まったデータ分析のためのデータサイエンティストの募集など）

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 月1回の会合と、年数回の鳥取合宿を実施予定

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)

3-4. 事業アライアンスコミュニティ（ビジネス委員会）

1. 目的

会員企業の変革の一助としての事業アライアンスに関する学ぶ機会の提供と情報交換を目的に活動する。

2. 活動内容

会員企業の変革の一助としての事業アライアンスに関する学ぶ機会の提供と情報交換を目的に活動する（勉強会を開催、テーマによってセミナーも企画）

3. 座長

藤本 斉 (株)HDC 執行役員 経営企画部長

4. 委員資格

- ・ 会員代表者及びこれに準ずる方(役員・部長クラス)
- ・ 守秘義務に係る覚書及びM&A条件シートの提出

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 年間で4～6回の会合（オンライン・リアル）を予定
- ・ リアル開催ではメンバー企業本社所在地での開催も予定（札幌、大分等）

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)

3-5. デジタルビジネスインキュベーションコミュニティ（ビジネス委員会）

1. 目的

主として、準大手、中堅（以下の）ITサービスベンダーなどのJISA会員企業が、最新の技術動向の学びを得ることや、企業間連携促進となる検討や各種セミナーを実施し、日本のデジタル競争力の向上の一助となる役割を担う。

2. 活動内容

- （１）DXへの取り組みに関する各種情報交換
- （２）インキュベーション活性化のための活動
 - ・ インキュベーションシーズの探索
 - ・ インキュベーションシーズセミナーの企画・実施
- （３）JISA会員の関心事に即した各種セミナーの企画・実施（生成AI等）

3. 座長

川島 浩之 （株）SRA プロダクト・サービス事業部長

4. 委員資格

- ・ 活動内容を了承いただいた企業
- ・ 個社の利害を超えて、他社との連携を前提とした活動ができること
- ・ 最先端IT技術やデジタルビジネスの推進に関心があること
- ・ IT業界の現在の課題 について問題意識を共有できること

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・ 原則月一回の会合
- ・ メンバーの発議により各種視察なども検討 （2019年には、福岡先端企業訪問、ピッチコンテストの視察実施）

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)

3-6. ITアーキテクトコミュニティ（技術委員会）

1. 目的

- ・ DX、クラウドコンピューティング、人工知能（AI）、IoTなど急速な技術革新と変化を遂げる中でITアーキテクトに求められる役割や変化を把握し、若手エンジニアのキャリアパスのひとつとして認識されるべく、職種・役割の認知度を向上させる
- ・ ITアーキテクト及びその育成担当が情報交流しお互いに切磋琢磨し、知識とスキルの向上を図る

2. 活動内容

- （１）アーキテクト人材育成と最新アーキテクチャ技術の2つのテーマを主としながらも、テーマを限定せず参加各社から提起された様々な関心事について、適宜有識者をお招きしながら各社事例の共有及びオープンな議論を行う。
- （２）これまでに実施した情報発信、若手育成(寺子屋)、サーベイランス活動を適宜見直しながら実施する。
- （３）外部有識者の招致による講演や情報交換を行う。

3. 幹事

江成 洋一（株）シーエーシー 人材戦略推進本部 エンジニアリングテクノロジー部 キャリアプロデューサー

4. 委員資格

- ・ ITアーキテクトとして業務に従事されている方
- ・ ITアーキテクトという職種に興味を持たれている方
- ・ ITアーキテクトの育成や組織化に関して興味を持たれている方

5. 会合の頻度

- ・ 1～2ヶ月に1回

6. 事務局担当

大原(mohara@jisa.or.jp)

3-7. アジャイルコミュニティ（技術委員会）

1. 目的

- ・ アジャイル開発への取組に関する実態調査や具体例の収集を通じて、導入の手掛かりを得ること。
- ・ スピード経営に対応した開発手法の普及と、そのビジネスへの活用を図ること

2. 活動内容

JISA会員企業におけるアジャイル開発の導入状況を調査・分析し、適応状況や課題等をレポートに取りまとめるとともに、アジャイルの事例紹介や課題共有、外部有識者や関係機関を招いた講演・情報交換などを通じて、知見の共有と相互理解を図る。

【具体的には】

- （１）アジャイル開発への取組に関する調査項目の検討
- （２）JISA会員向けの調査実施（Webアンケートの実施）
- （３）調査結果の集計及び分析、レポートへの取りまとめ
- （４）アジャイル開発の普及に資するセミナーの企画運営
- （５）アジャイル開発に関するメンバ各社の事例共有

3. 座長

安藤 寿之 NECソリューションイノベータ(株) アサインメント統括部主任
福田 朋紀 リコーITソリューションズ(株) 経営企画本部技術経営部長

4. 委員資格

- ・ アジャイル開発に関心があること
- ・ アジャイル開発の取組に関する自社の現状を紹介できること

5. 会合の頻度

- ・ 会合は月1回程度開催（令和6年度は全てオンライン開催）

6. 事務局担当

溝尾 (mmizoo@jisa.or.jp)